

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和4年2月18日（金）10時35分～11時35分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

知見主任安全審査官、高松専門職、高木係長、横山係長、高木技術参与
新井安全審査官（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所

黒川原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当5名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
 - 千島海溝津波対策として陸側遮水壁ブライン配管に設置した電動弁に係る現地動作試験について
 - ✓ ブライン配管の電動弁の単体動作試験及び統合動作試験（以下「動作試験」という。）を実施するにあたり、試験的に7BLK-H2のブライン供給を一時停止し、測温管150-7Sの温度変化に及ぼす影響を確認するための影響確認試験を2月8日に実施し、測温管150-7Sの温度が維持出来ることを確認した。
 - ✓ 2月15日に動作試験を実施するため、ブライン供給ポンプを停止したところ、ブライン供給配管からのブライン漏えいを確認したことから、動作試験を中止した。
 - ✓ 漏えい箇所を調査したところ、配管接合部のゴムリングのずれが確認された。今後、当該ゴムリングを取り替える等の復旧作業をする予定。
 - ✓ なお、プラント2系統のブライン供給の停止により測温管150-7Sの温度に上昇傾向が見られることから、当該漏えい箇所の復旧作業を進めるとともに、プラント1系統からのブライン供給についても調整をしている。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下のコメント等を行った。
 - 千島海溝津波の襲来に備えた電動弁の設置に係る動作試験の準備段階で生じたブライン漏えいについての原因究明及び復旧作業の詳細等、今後説明すること。

6. その他

資料：

- 汚染水対策スケジュール（2022年1月27日現在）
- 水処理設備の運転状況、運転計画（2022年2月4日～2022年3月3日）
- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について（2022年2月4日～2022年2月17日）
- 建屋内における残水等の状況について
- 実施計画記載期限に関わる進捗状況〈雨水処理設備等の先行運用について〉
- 【津波対策】陸側遮水壁ブライン配管用電動弁設置 現地動作試験について（Rev1）